

発言No.

7

受付No. 12

令和7年11月20日

8時35分 受付

一般質問発言通告書

議席番号 21 番 氏名 西田清久

答弁を求める者 ☐市長 ☐教育長 監査委員 選挙管理委員会委員長
(○をつける) 農業委員会会長 固定資産評価審査委員会委員長 公平委員会委員長

発言項目及び要旨

1 持続可能な中山間地域について

- ① 令和3年から5年間で10億円という「中山間地域振興枠」の取組については、当面継続実施されるとのことだが、その考え方について問う。
- ② 中山間地域における課題解決には、地域支所単位での一定の裁量を持つことも即効性と責任ある人材育成という観点から重要だと思うが、「地域枠予算」の考えはないか問う。
- ③ 農業従事者の高齢化が進む中、果樹等の栽培従事者が居られなくなった場合、新たな就農後継者との積極的なマッチングシステムの可能性について問う。

2 浜田に住みたい・住み続けられる環境整備について

- ① 産業振興と新たな働き方による地域力向上については、これまで、はまだ産業振興機構等で取り組んでこられたが、新たな施策について所見を問う。
- ② 新たな雇用の場や創業者を増やすには、空き家や空き店舗などの利活用も有効な手段だと思うが、所見を問う。

3 「社会教育をまちづくりの土台に」について

- ① 人口減少社会だからこそ、市民一人ひとりの生活の質や心の豊かさは求められていると思う。「人を育てること」は最も重要なテーマであり、未来の浜田の全ての分野に必要な不可欠なものである。様々なことを鑑み、「人材育成都市宣言」をされたらどうか所見を問う。

発言No.

8

受付No. 14

令和7年11月20日

9時29分 受付

一般質問発言通告書

議席番号 18 番

氏名 芦谷 英夫

答弁を求める者

(○をつける)

☒市長 ☒教育長 監査委員 選挙管理委員会委員長

農業委員会会長 固定資産評価審査委員会委員長 公平委員会委員長

発言項目及び要旨

1、所信表明について

(1) 協働のまちづくりの推進について

- ①社会教育をまちづくりの土台とすると述べ、地域社会に関心を持ってもらうこと、社会教育の手法による人づくりを行う、まちづくりセンターが主体となる、担当課がサポートする、とあるが、どのようなことを考えていて、これまでとはどう変わるのか。
- ②「市民の皆さんと対話する仕組みを設ける」としているが、どのような仕組みを構想しているのか。
- ③自主防災組織の組織率を高めるとしているが、地区社会福祉協議会、消防団、まちづくり推進委員会など、どう地域が連携し、地域が一体となった自主防災組織強化の具体的な方策は何か。

(2) 浜田駅周辺エリアのグランドデザインについて

- ①浜田駅周辺エリアのグランドデザインの策定とあるが、これまで行われた石見神楽伝承内容検討専門委員会報告書、現在、議論されている基本構想検討委員会の結果をどう扱い、具体化するのか。

(3) 高齢者福祉の推進について

- ①住まい、医療、介護、予防、生活支援を一体的に提供する「地域包括ケアシステム」の構築を目指すとしているが、体制整備はどこまで進み、残された課題は具体的にどのようなものがあるのか。

2、人口減少を食い止める政策について

- ①人口の減少数、減少率など、島根県は中国地方でどのような状況や位置にあり、浜田市は県内ではどのような状況や位置にあるのか。
- ②浜田市で地方創生を進めてきたが、人口減少を食い止める、出生数が増える、UIターンが進んだ、雇用が増えたなど、地方創生に叶う成果が上がったものはどのような事例があるのか。

- ③島根あさひ社会復帰促進センター、三隅火力発電所など市内にある企業について、単身赴任者の状況など実情を調査し、家族ともども浜田市に住んでもらうことを、会社に対し働きかけてはどうかと質問したが、その後の状況はどうなったのか。

3、観光入込客増に向けた施策について

- ①県においてDMO観光地域づくり法人を設立されたが、具体的にどのような事業を行い成果が上がったのか。
- ②令和8年3月には山陰自動車道が益田まで開通するが、これにあわせ観光入込客を増加させる具体的な計画や施策は立てているのか。
- ③ゆうひパーク浜田計画案の見直しはどう進めていて、今後の計画はどのようなになっているのか。

4、市民生活の状況について

- ①物価高の中、生活保護の相談、生活困窮者自立支援制度、あんしん生活相談窓口の相談件数などから、市民生活の状況はどのようなになっているのか。
- ②令和7年度物価高騰対策として様々事業化され予算化されているが、全体的な執行状況、関係先からの声などから事業をどう評価しているのか。
- ③ガソリン価格が高いがことについて、市としてその背景や要因などを調査し、関係先に、他市並みに引き下げをこれまで求めてきたのか。

—以上—

発言No.

9

受付No. 7

令和7年11月19日

10時12分 受付

一般質問発言通告書

議席番号 6 番

氏名 戸津川 美二

答弁を求める者

(○をつける)

☒ 市長

☒ 教育長

☐ 監査委員

☐ 選挙管理委員会委員長

☐ 農業委員会会長

☐ 固定資産評価審査委員会委員長

☐ 公平委員会委員長

発言項目及び要旨

1 市への政策に関わる提言について

(1) 民間団体等からの提言について

- ① 連合島根西部地域協議会浜田地区会議から定期的に提言をされているが、どのように政策に反映されているのか伺う。
- ② その他にも政策提言されている事例があるのか伺う。

(2) 連合島根浜田地区会議からの政策提言にある現状と課題について

- ① 雇用労働政策に関する現状と課題について認識を伺う。
- ② 子育て世代の現状と課題について認識を伺う。
- ③ 高齢者の福祉・医療に関する現状と課題について認識を伺う。
- ④ 持続可能な地域づくりに関わる現状と課題について認識を伺う。

2 島根県立大学について

(1) 浜田市との共同研究事業について

- ① 政策に反映できた事業はどのようなものがあるのか伺う。
- ② 地域とどのように関わることができたのか伺う。

(2) 県立大学生の地元就職について

- ① 現在の学部ごとの県内外の学生数・割合について伺う。
- ② 県内への就職状況について伺う。
- ③ インターンシップ制度の状況について伺う。
- ④ 学生への支援について伺う。

発言No. 10

受付No. 18

令和7年11月20日

10時18分 受付

一般質問発言通告書

議席番号 7番

氏名 村木勝也

答弁を求める者

(○をつける)

市長 教育長 監査委員 選挙管理委員会委員長

農業委員会会長 固定資産評価審査委員会委員長 公平委員会委員長

発言項目及び要旨

1 新市まちづくり計画(平成17年9月)と今後の浜田市について

(1) 新市まちづくり計画の概要について

- ① 新市まちづくり計画は浜田市においてどのような位置付けであるのか伺う。
- ② この計画の期間は、更新され、令和7年度までとなっているが、今までどのような検証がされてきたのか伺う。

(2) 【地域づくり】における「地域の特性を活かしたまちづくりの連携」について

- ① 地域振興計画の策定率を伺う。
- ② 地域振興計画が、どのように具現化されているのか伺う。
- ③ 地域振興計画が、行政の中でどのように役立てられているのか伺う。
- ④ 今後の地域コミュニティにおいて、この地域計画書をどのように活かすのか伺う。

(3) 【地域づくり】における「大学等高等教育機関と連携した地域づくり」について

- ① この項目の主要施策の2本柱である「島根県立大学等との連携の推進」と「リハビリテーションカレッジ島根等との連携の推進」の成果について伺う。
- ② 今後における2本柱の内、島根県立大学については、所信表明で述べられている。「リハビリテーションカレッジ島根」については、どのような考えなのか伺う。

(4) 【人づくり】における「生涯学習の充実」について

- ① この計画において、「生涯学習の充実」については、どのようにされてきたのか伺う。
- ② 浜田市まちづくりセンター条例第3条の規定から、まちづくりセンターは市長が管理する公民館であることで間違いはないか伺う。
- ③ 今後の社会教育施設のあり方を伺う。
- ④ 「生涯学習都市宣言」の考えはないか伺う。

(5) 今後の「新市まちづくり計画」について

- ① 令和 8 年度以降の更新はあるのか伺う。
- ② 「青い海・緑の大地 人が輝き文化のかおるまち」は、新市まちづくり計画の理念です。今後の対応を伺う。

発言No.

11

受付No. 21

令和7年11月20日

10時53分 受付

一般質問発言通告書

議席番号 13 番

氏名 柳楽 真智子

答弁を求める者

(○をつける)

市長 教育長 監査委員 選挙管理委員会委員長

農業委員会会長 固定資産評価審査委員会委員長 公平委員会委員長

発言項目及び要旨

1. 産後ケアについて

- ① 産後ケア事業が行われているが、利用者の推移について伺う。
- ② 産後ケア事業の内、乳房ケアの利用状況を伺う。
- ③ 断乳後も乳房が張って大変なので、是非支援の期間を延長してほしいとの要望があるが、延長することはできないか伺う。

2. 子どもの権利について

(1) 子どもの権利を守る対策について

人間は生まれながらに、生きるための最低限の生活を保障される生存権。国家から干渉されず、自由に生きられる自由権。不当な差別を受けることのない平等権。健康で文化的な生活を営むための社会権。政治に参加する参加権など、人がその人らしく生きるために保障される権利を持っています。また、子どもの権利として国連の「子どもの権利条約」には、子どもの生きる権利、育つ権利、守られる権利、参加する権利が謳われています。

- ① 子どもの権利について子ども自身が知る権利があると考えますが、伝える場は設けられているのか伺う。
- ② 虐待や貧困、そのほかにも様々な状況により子どもの「生きる権利」が脅かされる状況があるが、浜田市の現状を伺う。
- ③ 虐待を防ぐための対策を伺う。
- ④ 貧困を防ぐための対策を伺う。
- ⑤ 教育や学び、文化や自己表現の機会の不足、遊びや休息の不足。また発達に応じた支援が受けられないなどの課題がある。浜田市において子どもの「育つ権利」は守られているのか伺う。

- ⑥ 発達の遅れについては早期発見と支援への繋ぎが重要と考える。専門医の不足という課題がある中で、どのような対応が行われているのか伺う。
 - ⑦ 子どもの「守られる権利」は浜田市において保たれているか現状を伺う。
 - ⑧ 防災・防犯メールで子どもに対する声掛けや撮影事案の報告を受けることがある。地域の見守りも必要と感じるが、市民への協力の呼びかけ等も行われているか伺う。
 - ⑨ 親の生きづらさが子どもに影響することも心配される。親子併せての支援が大切であり、そこには学校との連携が必要と考えるが所見を伺う。
 - ⑩ 子どもが発言する機会の確保や意見反映など、子どもの「参加する権利」は守られているか、浜田市の現状を伺う。
 - ⑪ 特に子どもに関わる事柄は、子どもの意見を聴き、その意見が反映されることが大切であり、ふるさとへの信頼や愛着に繋がるとも聞く。子どもに権利を与えたら大変なことになるという大人もいるが、全ての人に等しく生まれながらに権利が保障されていることを大人も理解することが求められる。理解の促進をどのように進めるのか伺う。
- (2) 子どもの権利条例策定について
- ① 子どもの権利を守るために子どもの権利条例は必要と考える。今後条例の制定を行う考えがあるか伺う。
 - ② 子どもの権利条例を制定する場合には、行政だけでなく関係団体や専門家、子ども自身、保護者などの意見を反映することが大事と考えるが所見を伺う。